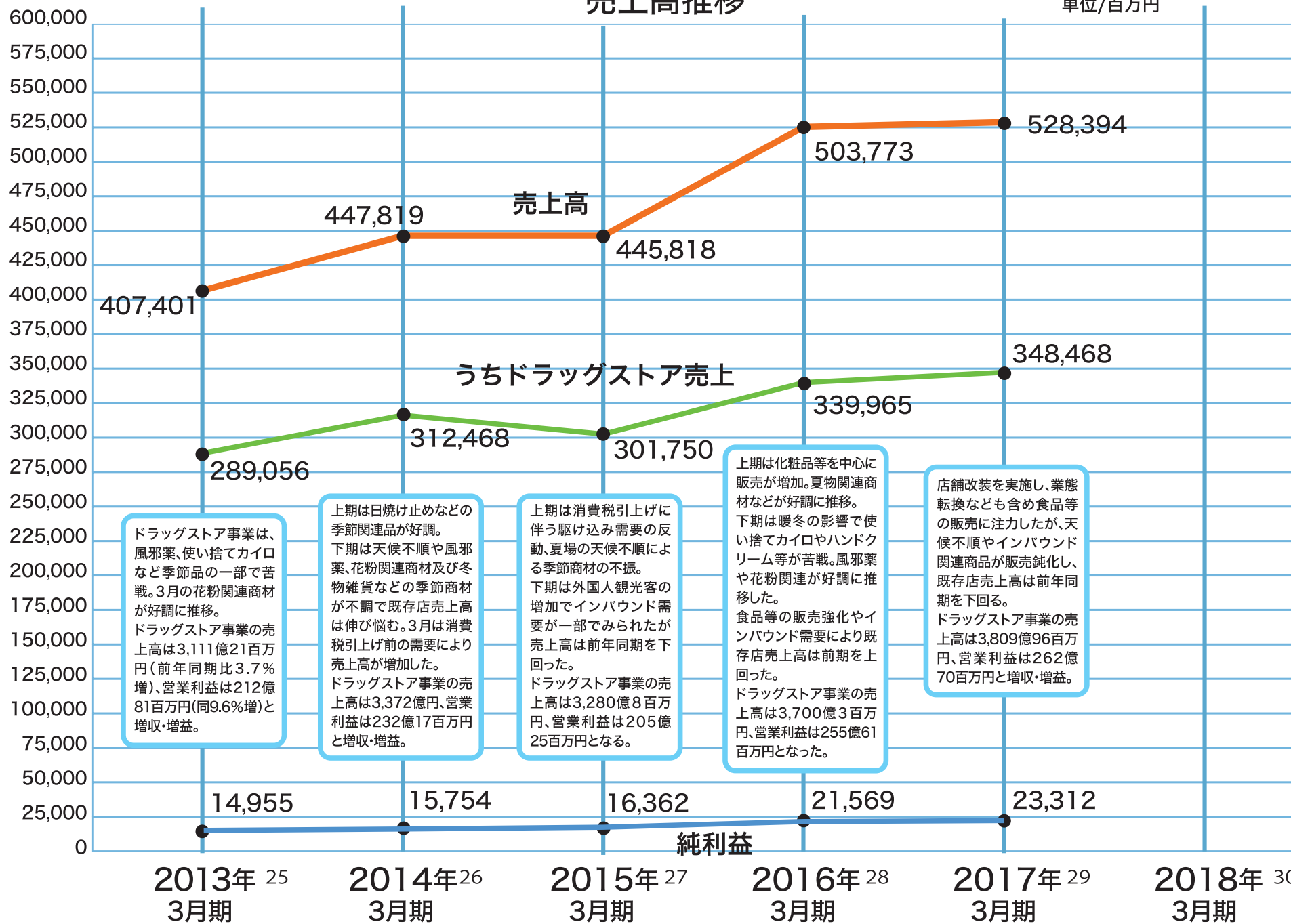


株式会社サンドラッグ 日本基準 連結

引用/決算短信、有価証券報告書
単位/百万円

売上高推移



ドラッグストア事業は、風邪薬、使い捨てカイロなど季節品の一部で苦戦。3月の花粉関連商材が好調に推移。ドラッグストア事業の売上高は3,111億21百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は212億81百万円(同9.6%増)と増収・増益。

上期は日焼け止めなどの季節関連商品が好調。下期は天候不順や風邪薬、花粉関連商材及び冬物雑貨などの季節商材が不調で既存店売上高は伸び悩む。3月は消費税引上げ前の需要により売上高が増加した。ドラッグストア事業の売上高は3,372億円、営業利益は232億17百万円と増収・増益。

上期は消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動、夏場の天候不順による季節商材の不振。下期は外国人観光客の増加でインバウンド需要が一部でみられたが売上高は前年同期を下回った。ドラッグストア事業の売上高は3,280億8百万円、営業利益は205億25百万円となる。

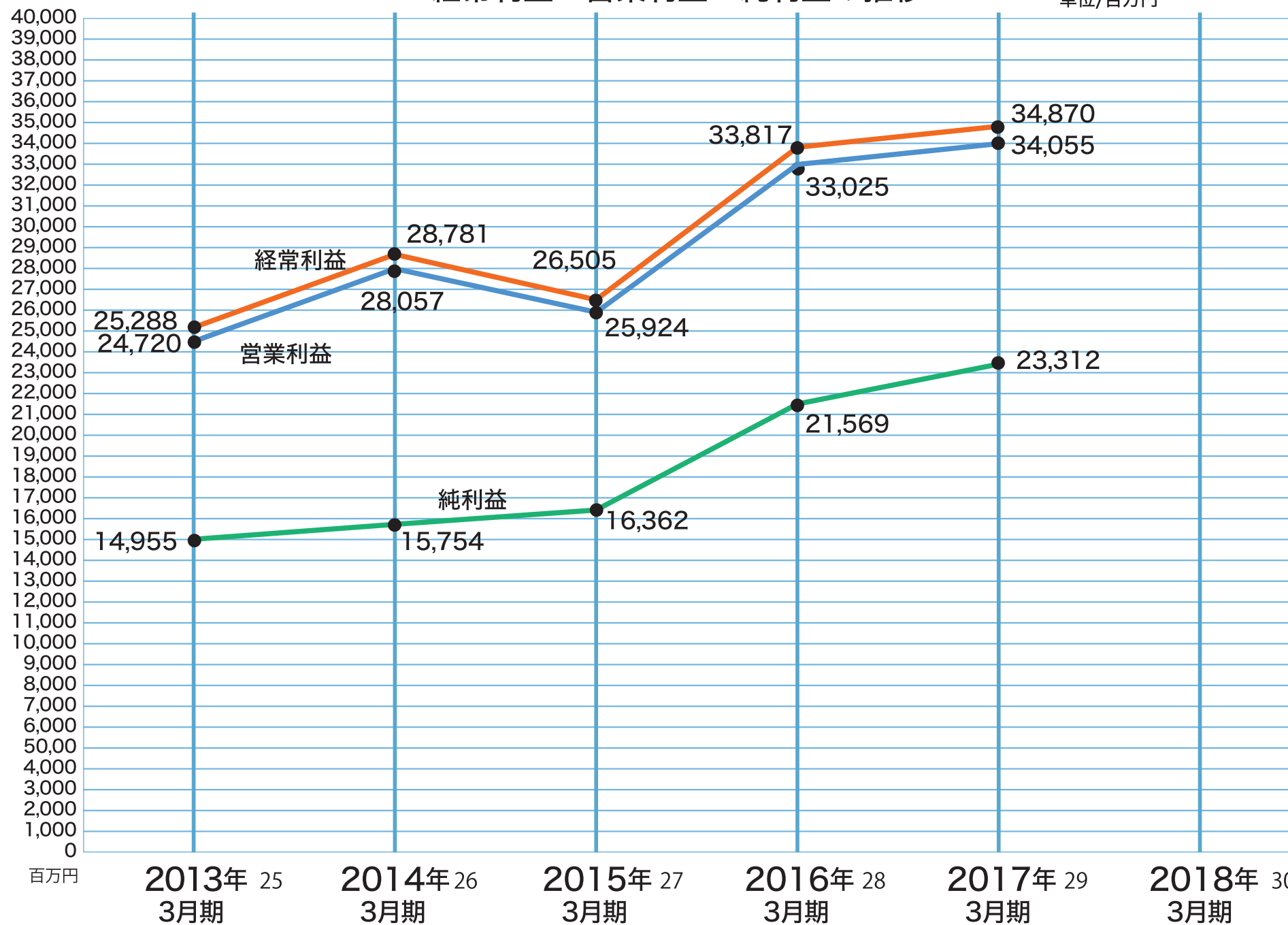
上期は化粧品等を中心に販売が増加。夏物関連商材などが好調に推移。下期は暖冬の影響で使い捨てカイロやハンドクリーム等が苦戦。風邪薬や花粉関連が好調に推移した。食品等の販売強化やインバウンド需要により既存店売上高は前期を上回った。ドラッグストア事業の売上高は3,700億3百万円、営業利益は255億61百万円となった。

店舗改装を実施し、業態転換なども含め食品等の販売に注力したが、天候不順やインバウンド関連商品が販売鈍化し、既存店売上高は前年同期を下回る。ドラッグストア事業の売上高は3,809億96百万円、営業利益は262億70百万円と増収・増益。

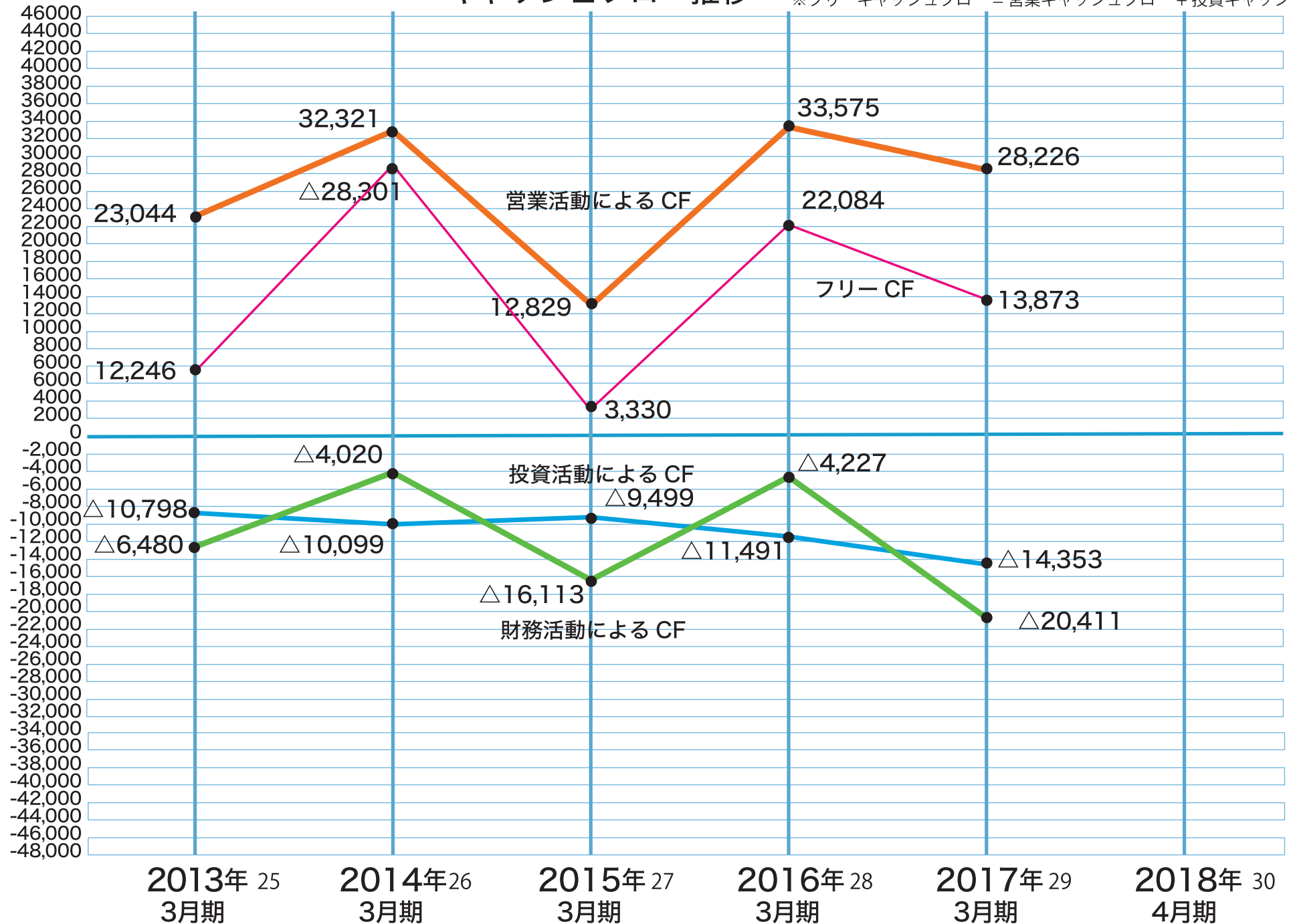
株式会社サンドラッグ 連結

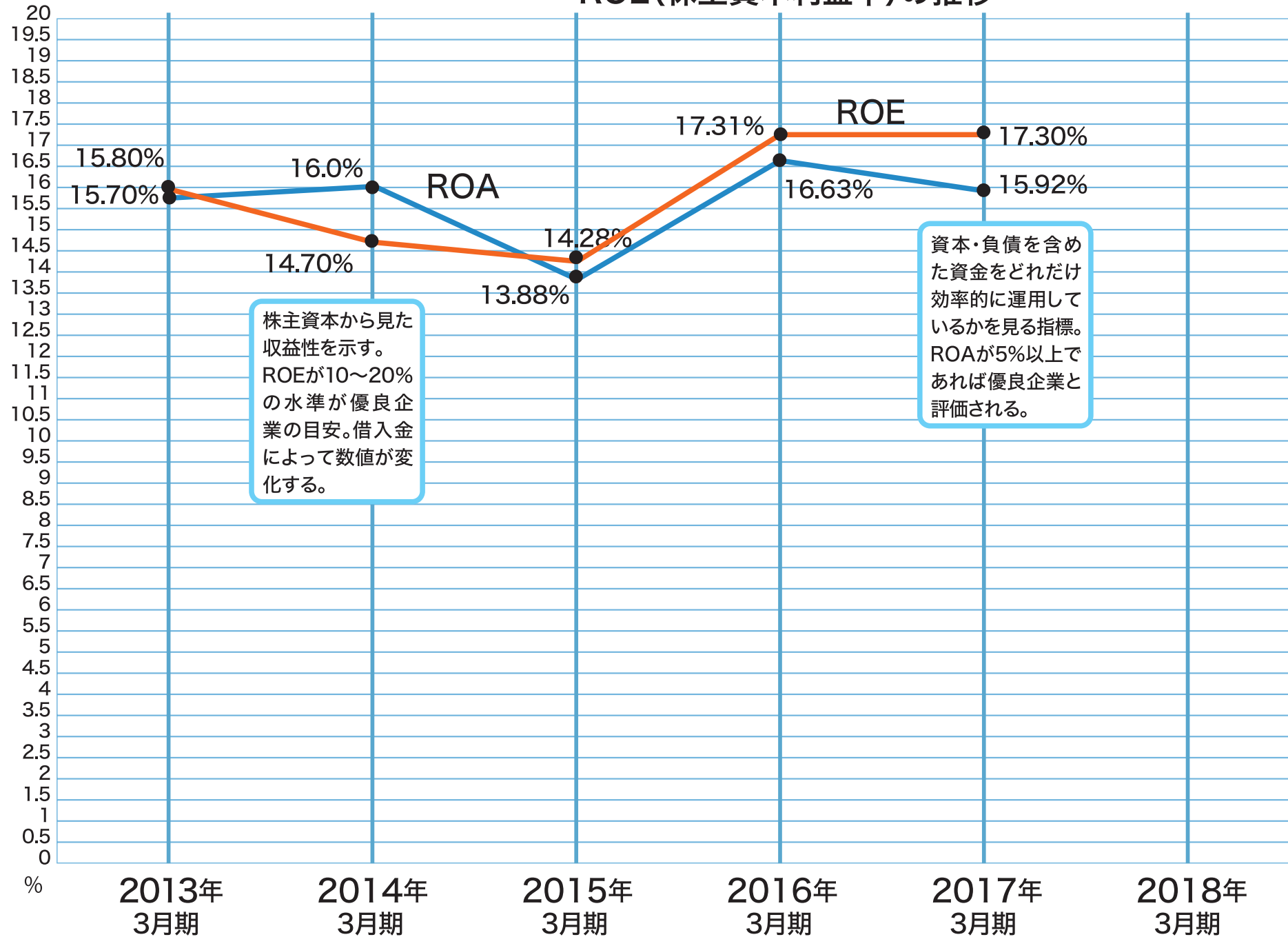
経常利益・営業利益・純利益の推移

引用/決算短信、有価証券報告書
単位/百万円



キャッシュフロー推移





株式会社サンドラッグ 日本基準 連結

総資産・自己資本推移

引用/決算短信、有価証券報告書
単位/百万円

自己資本
比率

